

地籍調査支援システム

認証請求区域図（図面）

作成簡易マニュアル



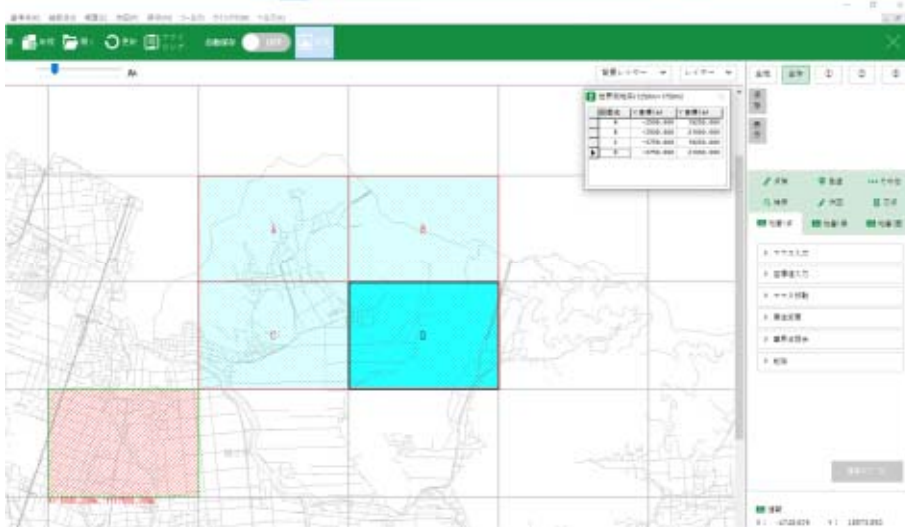
株式会社 上智

① 運用例

認証請求区域図については、当図面専用の"整理番号データ"（以下、区域図用整理番号）をご用意頂くことで、永久的に編集（区域の加除）を行って頂くことが可能です。

② 事前準備：共通市町村図面の登録※

- (1) 上部メニューから【保守】－【共通マスターデータ保守】－【共通市区町村内区画編集】を選択



- (2) 左下の操作方法メッセージに従い、図面を登録して下さい。

手順① 地図上で、市町村図枠を登録する位置を左クリック。

手順② 右上の一覧画面、“図面名”の欄に、図面名を入力。

(オプション) キーボードの【CTRL】キーを押すと、自動名称入力モードに変更することができます。開始名称（通常は“A”）を入力すると、左上から順に名称を自動設定します（入力済み・未入力関係なく更新します）。

これにより、全域の図枠登録時、名称入力の手間を省略することができます。

再度【CTRL】キーを押すと、手入力に戻ります。

※ この事前準備は一度作成してあれば、不要な作業になります。

(3) 全図面名の入力完了したら、右クリックで登録作業を終了して下さい。



(注意) 名称の手入力時は、図枠名に使用しない文字があることに注意してください。

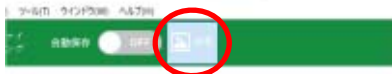
地籍図作成要領にも記載がありますが、「I」「O」「X」「Y」の4文字は使用しません。

自動名称入力の機能を利用すると、この4文字を除いて命名します。

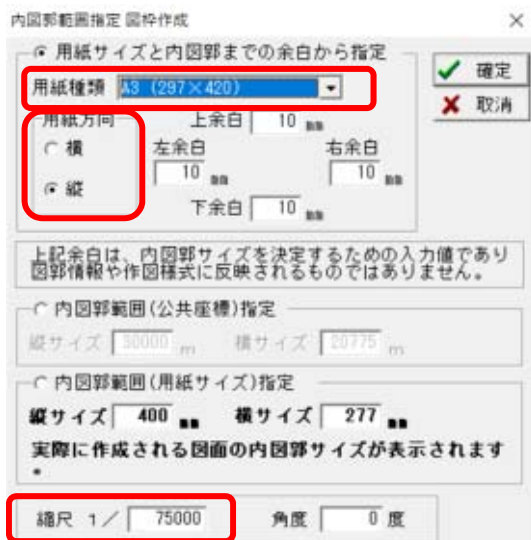
③ 成果図用図枠の登録

※ 区域図用整理番号での作業

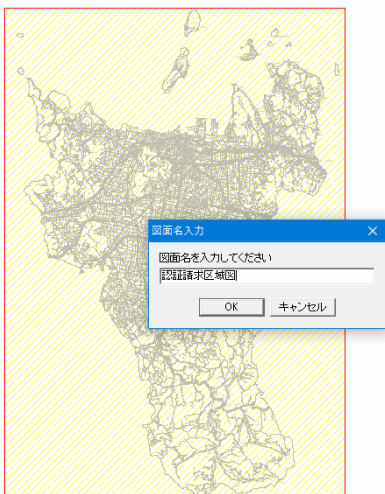
あらかじめ、【背景】ボタンを押して、市町村全域がわかる背景図を表示しておく、図枠の作成がしやすくなります。



- (1) 上部メニューから【作図】－【図面保守】－【図枠選択 図面作成（図郭サイズ 入力）】を選択
- (2) オプション選択 の画面で、図面枠の種類選択で「一覧図」を選択します。
- (3) 内図郭範囲指定 図枠作製 の画面で、“指定種類”を A3、“用紙方向”を縦（または横）“縮尺”を用紙に収まる 1/50000 や 1/75000 等に設定して下さい。



- (4) 市町村全域が赤枠に収まるように位置を確定し、図面名（任意）を登録して下さい。



④ 認証申請区域認証請求区域図（区域境界線）の登録

4-1.マウス入力による座標入力

※ 区域図用整理番号での作業

- (1) 右側メニュー【地番 | 点】 - 【マウス入力】を選択
- (2) 筆界点入力 の画面で、“ブロック”欄に「1」（任意番号）を入力します。
- (3) 左下の操作方法メッセージの従い、筆界点を登録して下さい。

※ここでの筆界点は、『認証請求区域や認証済区域等の大まかな境界点』になります。



- (4) 右側メニュー【地番 | 線】 - 【入力】を選択
- (5) 筆界線線種 の画面で、“線種”から 区域図の各種線種（市町村境界[黒]・当該区域線[赤]・認証済区域線[緑]・調査済区域線[茶]）を選択し、左下の操作メッセージに従い、線を登録して下さい。このとき、点間距離が長い（200m 以上）場合、作成してもよいかの確認メッセージが出ますが、「はい」と応答してください。



(6) 右側メニュー【地番 | 面】 - 【地番入力】を選択

(7) 先に登録した区域線内に対して、左下の操作メッセージに従い、地番を登録して下さい。

【例】 筆状態は通常地番で、“大字コード”欄に「1」（任意半角数字）を入力し、“地番”欄に「A-1 地区」等



4-2.過年度業務の座標列を活用する場合（外周コピー）

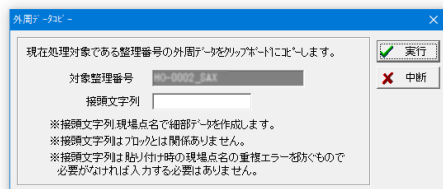
※ 過年度業務の整理番号での作業

(1) 整理番号を開き、全体が見えるまで縮小して下さい。

(2) 右側メニュー【その他】 - 【外周点線 コピー】を選択

(3) 外周線分が、赤色で強調表示され、複写先の点名に付与する文字を指定します。

認証請求区域図作成用の整理番号で、点名に重複があると、貼り付けに失敗することがありますので、“H30_”や“R01-”等、年度に関わる文字を指定すると重複が避けられます。



複数の年度分の業務データがある場合は、(1)～(9)を、順に繰り返します。

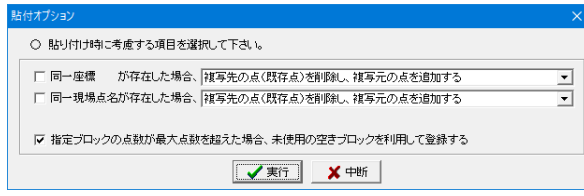
(4) 実行ボタンを押して下さい。

(5) 複写範囲を指定するかの問い合わせがありますが、「いいえ」を押し、全体を複写します。

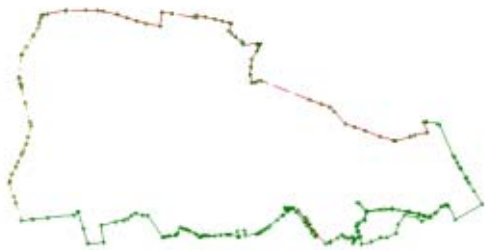
不要な範囲は、貼り付け後に削除します。

※ 区域図用整理番号での作業

- (6) 右側メニュー【その他】－【筆データ 貼り付け】を選択
- (7) ブロック指定の画面が表示されますので、1を入力します。
- (8) 続けて、貼付オプション画面が表示されますが、このまま実行ボタンを押して下さい。



- (9) 過年度業務の整理番号での作業(5)でコピーされた外周部が貼り付けられます。



- (10) 右側メニュー【地番 | 線】－【変更】を選択
 “線種”から 区域図の各種線種（市町村境界[黒]・当該区域線[赤]・認証済区域線[緑]・
 調査済区域線[茶]）を選択します。
 図上から貼り付けした線分を指定し、線種を変更します。

- (11) 不要な点・線（隣接地区の外周線を貼り付けした後の境界部分等）があれば

右側メニュー【地番 | 点】－【削除】や

右側メニュー【地番 | 線】－【削除】を利用し、個別に削除。

または

右側メニュー【その他】－【範囲指定データ削除】を利用し、範囲指定で削除します。

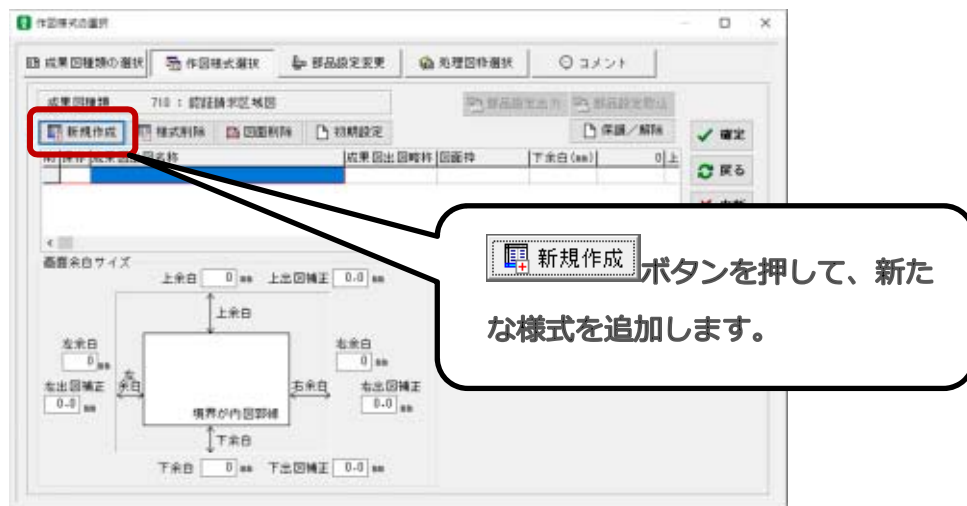
- (12) 4-1.マウス入力による座標入力 (7)同様、領域に地番を登録します。

⑤ 成果図「認証請求区域図」作成

- (1) 上部メニューから【作図】 - 【成果図を開く】を選択
- (2) 成果図種類の選択 の画面で、「710 認証請求区域図」を選択し、確定します。

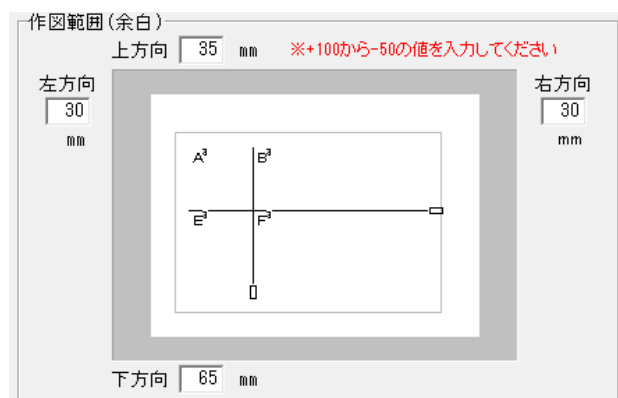


- (3) 【作図様式の選択】の画面に移動しますので、様式の登録を行います。
すでに作成済みの様式がある場合は、新規作成を行う必要はありません。



- (4) 続けてパラメータの編集を行います。

"部品番号 190 市町村図郭番号" の作図範囲を以下のように設定して下さい。



他の部品は、特に変更する必要はありません。

(5) 図枠選択

③成果図用図枠の登録で、登録した図枠名が、図枠名欄に表示されているので、そのまま確定してください。

① 作図様式の選択

成果図種類の選択 | 作図様式選択 | 部品設定変更 | 処理図枠

作図様式: 認証請求区域図

図枠選択	図枠名	縮尺
	認証請求区域図	50000

完了
戻る
中断

(6) 図面作成モード

作図された情報がないので、白とグレーのみの表示になります。



(7) 自動配置

右側メニュー【作図】－【成果図データ 自動配置】を選択

処理図面の選択

整理番号: 0002_UAX

選択図面一覧

図面名
認証請求区域図

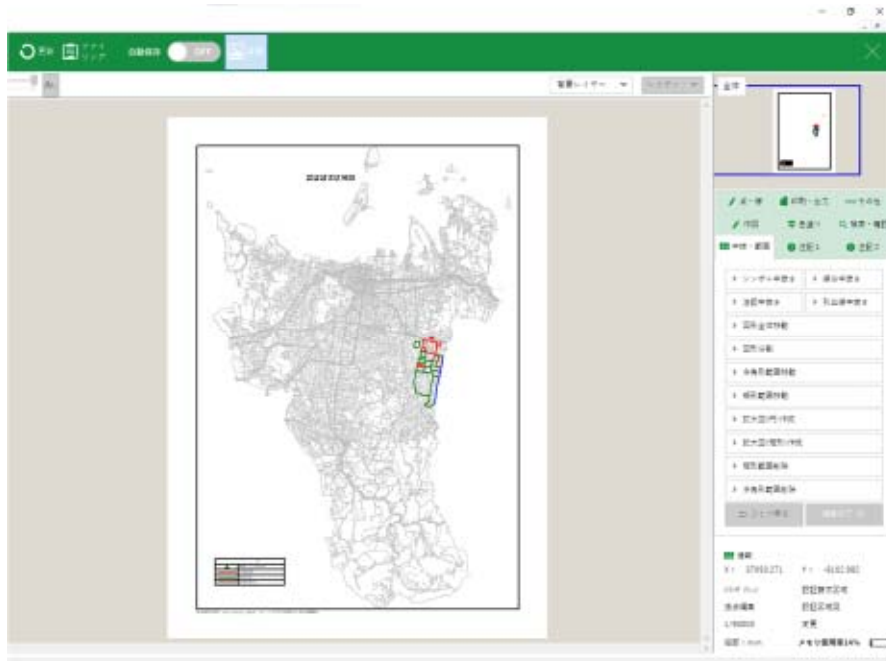
図面一覧

図面名

決定 中断

図面 | 既に装飾済みの図面が存在する図面

(8) 下図のように、**認証請求区域図** が作成されます。



⑥ 成果図「認証請求区域図」の編集（整飾）

※ 認証請求区域図については、前項の作成後、ユーザー様任意の各種操作により、図面の編集（整飾）をお願いします。

図面データを PDF 形式や画像形式に保存の上、ユーザー様各位でご利用下さい。

（例 1） 区域への色塗り の方法

右側メニュー【色塗り】－【地番色塗】

（例 2） 図面へ注記追加 や 注記編集 の方法

右側メニュー【注記 1】－【注記追加】

右側メニュー【注記 1】－【注記文字編集】

（例 3） 不要な線分の削除（伸縮） の方法

右側メニュー【点・線】－【線分伸縮】

（例 4） 不要な部分の削除 の方法

右側メニュー【中抜・範囲】－【矩形範囲削除】または 【多角形範囲削除】



GEOIST 地籍システム サポート窓口

■受付時間

平日 午前 9 : 0 0 ~ 1 2 : 0 0

午後 1 3 : 0 0 ~ 1 7 : 0 0

(土曜・日曜・祝日及び年末年始等、弊社の休業日は除く)

■お問い合わせ窓口

TEL : (0763) 32-2135

FAX : (0763) 33-2558